

安全安心まちづくり

瀬谷警察署

公式 X



竹村町だより

駐在所だより

4月号・発行

竹村町駐在所

TEL366-0110



薬物の乱用「ダメ!セッター!」

4月は、入学、進級、就職、転職等により生活環境が変わり、精神的に不安定になる時期でもあります。

興味本位や安易な気持ちで薬物(覚醒剤、大麻、危険ドラッグ等)に手を出してはいけません。たった一度の使用で、人生が大きく変わってしまいます。

「一度だけなら」「自分は大丈夫」と思って

も乱用によって量や回数が増えていき、幻覚や妄想等の薬物の影響で凶悪犯罪や重大な交通事故を

引き起こすこともあります。「1回だけなら大丈夫」「仕事・勉強に集中できる」など甘い言葉で薬物の使用を誘われても「断る勇氣」を持ってください。



- ① 子供をはじめとする歩行者の安全確保
- ② 歩行者優先意識の徹底と
- ③ 自転車・特定小型原動機付自転車利用時の乗車用ヘルメット着用と交通ルールの遵守
- ④ 二輪車の交通事故防止を安全運動の重点として、交通事故防止に取り組んでいきます。

特殊詐欺の被害防止対策の推進

3月27日現在、瀬谷警察署管内での振り込み詐欺被害が、8件(被害総額約2984万円)発生しました。県内では、警察官や検察官を騙って「捕まえた犯人があなたから通帳を買ったと言っている」「犯人があなたの口座に報酬を振り込んだと言っている」などと身に覚えがないことを話し「資産状況を確認する」とか「口座を凍結する」などと言って、指定した口座にお金を振り込むよう要求してきます。なかにはインターネット



バンキングを開設させて、その後、送金させ、金銭をだまし取るケースもあります。警察官や検察官がSNSやビデオ通話で連絡を取ったり、警察手帳や逮捕状を示すことはありませ

春の全国交通安全運動の実施

神奈川県警察では、令和7年4月6日(日)から4月15日(火)までの10日間、「新入学児童・園児を交通事故から守ろう」をスローガンに①子供をはじめとする歩行者の安全確保、②歩行者優先意識の徹底と、ながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシート



竹村町事件簿

3月中の刑法犯発生状況 4件

- 6日 色情わらい未遂(本郷1丁目・犯人検挙)
- 11日 自動販売機わらい(竹村町)
- 16日 詐欺(本郷2丁目)
- 19日 詐欺(本郷1丁目)

春の行楽期における山岳遭難の防止

令和6年中における県内での山岳遭難発生件数及び遭難者数は、統計が残る昭和48年以降、過去最多となる183件209人(前年比4件増5人増)であり、死亡者は4人(前年比11人減)でした。態様別では、疲労が57人(前年比4人増)と最も多く、次いで道迷いが41人(前年比14人減)、転倒が40人(前年比8人増)となつて



- ① 無理のない登山計画を立て、登山届を提出する。
- ② 装備品を必ず携帯する。
- ③ 出発前に健康状態をよく確認するなどして万全の状態で登りましょう。

性犯罪被害の防止

性犯罪は、被害者を心身ともに深く傷つけ、たとえ身体の傷が癒えても、被害者だけでなく、周りの家族等をも長きにわたって苦しめ続ける許しがたい犯罪です。

特に女性の皆さんは、夜間、「一人で帰宅するとき、周囲には警戒!」「自宅に入るとき、玄関前でも要注意!」「自宅に居るときはドア、窓も全て施錠」など自分の身を守ることを十分意識して被害に遭わないようにしましょう。

